

## 福島第一原子力発電所現地確認報告書

### 1 確認日

令和4年12月5日（月）

### 2 確認箇所

- ・ 3号機タービン建屋外壁北東側
- ・ 共用プール建屋

### 3 確認項目

- (1) 3号機タービン建屋外壁止水工事の状況
- (2) 共用プール建屋雨水排水改修工事の状況

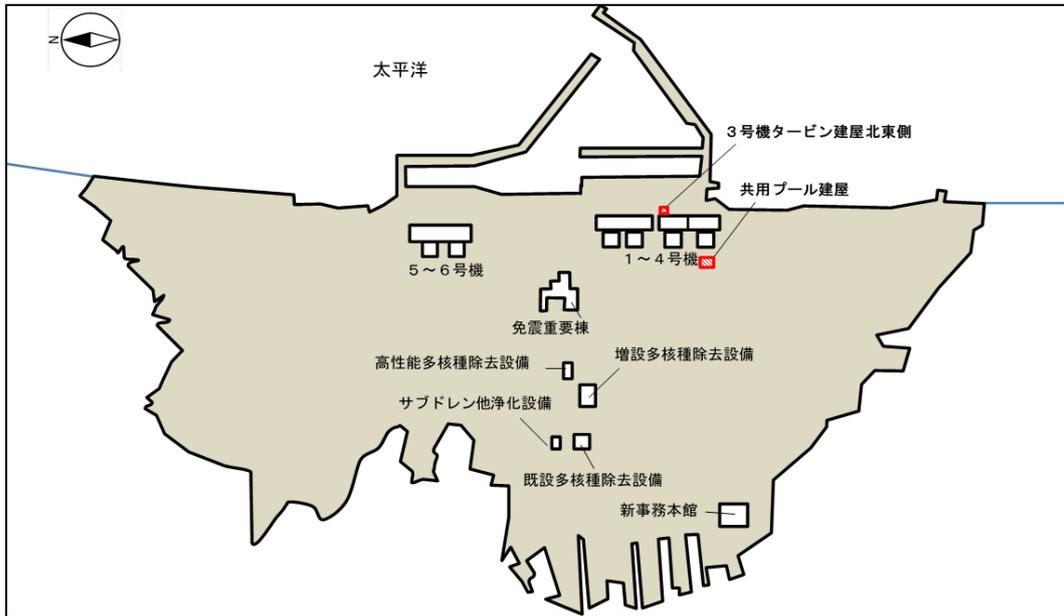
### 4 確認結果の概要

#### (1) 3号機タービン建屋外壁止水工事の状況について

1～4号機建屋への雨水及び地下水の流入については、雨水の流入抑制対策として建屋周辺のフェーシングや屋根の補修等が進められており、地下水の流入抑制対策としては地下水バイパス、サブドレン及び陸側遮水壁が運用されている。東京電力では、建屋流入量のさらなる低減のため、最も適切な対策について幅広く総合的に検討するとともに、建屋周辺などの高線量ガレキの撤去が進むなど施工環境の改善が図られてきていることから、施工可能な箇所において、局所的な止水対策に取り組むとしており、今後も1～4号機周辺のフェーシングにより雨水の流入抑制を進め、さらなる流入抑制として、残存する配管等の建屋貫通部や建屋間のギャップ（隙間）端部への止水対策を検討するとしている。

建屋への流入量が最も多い3号機では、深部（T. P. + 2 m以深）に残存が確認されている建屋貫通部（北東部2箇所、南東部1箇所、南西部2箇所）における止水方法を検討することとし、3号機タービン建屋北東側においては薬液注入による止水工事が実施されていることから、前回に引き続き状況を確認した。（前回確認日：令和4年10月20日）（図1）

- ・ 現場に設置されていた2種類の薬液注入工事用機材が撤去されていた。（写真1）
- ・ 薬液注入口（ケーシング）及び、作業エリアに足場として設置された鉄板の一部が撤去されていた。（写真2）
- ・ 東京電力によれば、当該工事は12月中旬に完了予定とのことである。



(図1) 福島第一原子力発電所構内概略図



(写真1-1)  
薬液注入機材の状況  
(令和4年10月20日撮影)



(写真1-2)  
同左  
(令和4年12月5日撮影)



(写真2-1)  
薬液注入口周辺の状況  
(令和4年10月20日撮影)



(写真2-2)  
同左  
(令和4年12月5日撮影)

(2) 共用プール建屋雨水排水改修工事の状況について

共用プール建屋の雨水排水設備は、昨年度東京電力が実施した外観点検・掘削調査において、地下側溝に損傷している箇所が確認され、漏出した雨水が地中に浸透している可能性が示唆されたことから、近傍の既設雨水柵まで仮設導水管が設置されている。

東京電力において、今年度、雨水排水設備の本設復旧を計画していたことから、その状況を確認した。(図1)

- ・現場では、本設復旧に向けた作業用足場が組まれていた。(写真3)
- ・足場用の資機材は共用プール建屋の東側に駐車したクレーン車により、足場近傍で作業をする作業員に受け渡しされていた。(写真4)



(写真3)  
設置中の作業用足場の状況



(写真4)  
資機材運搬作業の状況

5 プラント関連パラメータ等確認

本日確認したデータについて、異常な値は確認されなかった。